

地域、保護者、学校、行政の教育への関わり方  
～未来（20年後）の大人となる子ども達が地域で  
主体的に生きるには～

---

発表者名      EDU 4 2

楠田幸恵（筑前町役場）

青山斉史（直方市役所）

熊懐真孝（うきは市役所）

# 発表者紹介

EDU 4 2 班

筑前町



直方市



うきは市



## EDU 4 2からの提言

---

私たちは

「主体性を育む土壌がない」という問題に着目して、

「未来の大人となる子ども達が地域で主体的に生きるようになる」ために、

「関わりを持つことを諦めない」という課題の解決について提言いたします。

# あるべき姿

未来の大人となる子どもたちが  
地域で主体的に生きる

現状

ギャップ  
(問題)

問題解決に主体的に取り組む大人が身近にいない

主体性を育む「体験」の機会が少ない  
課題について話す場が足りない



主体性を育む土壌がない

# 目次

---

1

背景

2

先進地視察による考察

3

原因分析からの課題解決

4

具体的な解決策（政策提案）

# 背景

---

1

背景

2

先進地視察による考察

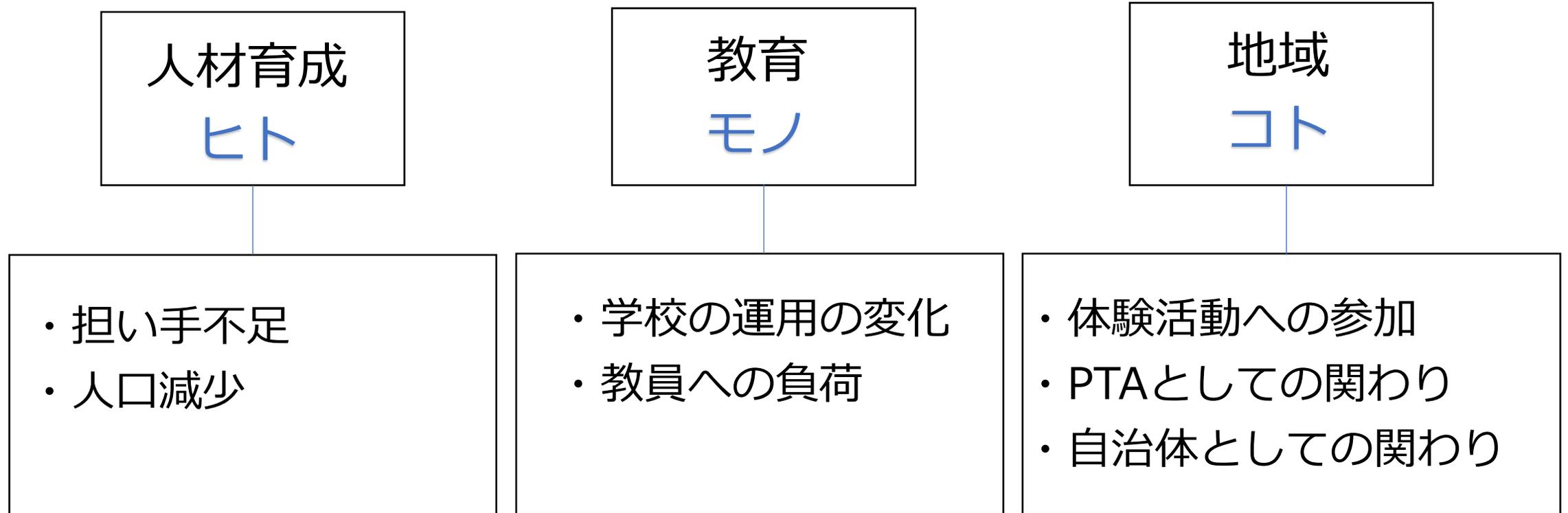
3

原因分析からの課題解決

4

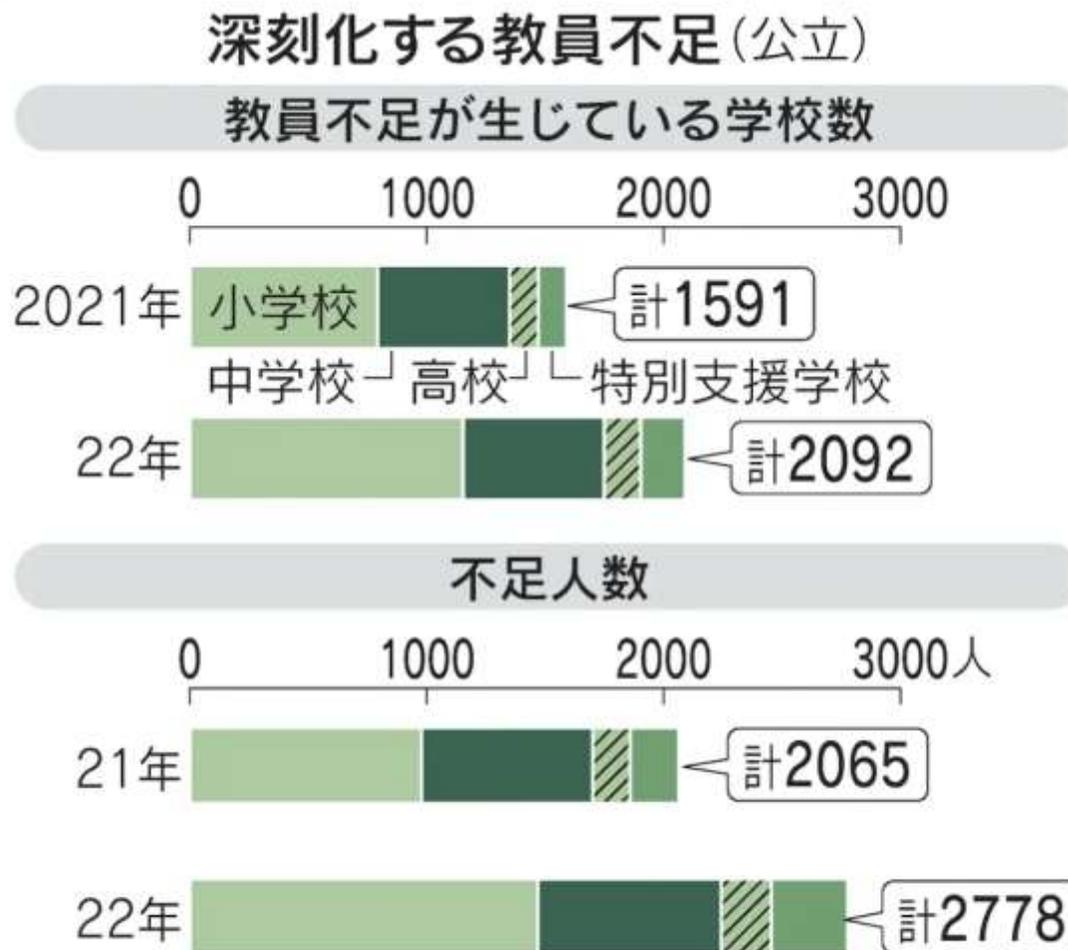
具体的な解決策（政策提案）

## 1.背景



# 1.背景（担い手不足・教員への負荷）人材育成・ヒト 教育・モノ

学校教育の限界  
深刻化する教員不足



(注) 5月1日時点。21年は文部科学省、  
22年は日本経済新聞社調べ

# 1.背景（担い手不足・教員への負荷） 人材育成・ヒト 教育・モノ

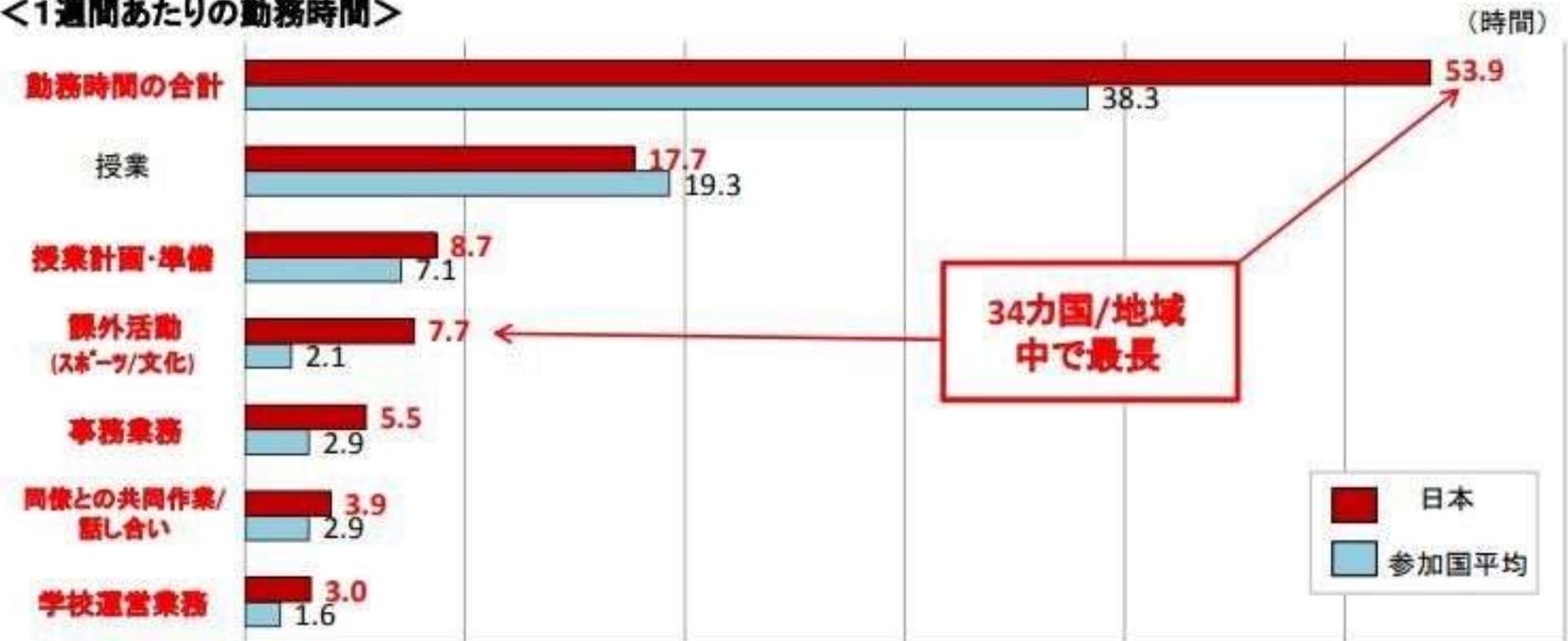
## 学校教育の限界

## 学校の先生は多忙

○34か国・地域が参加するOECD調査  
○日本は中学校約200校の校長、教員(非正規含む)を対象にアンケート調査(国公立90%、私立10%)

- 日本の教員の1週間当たりの勤務時間は最長。
- 授業時間は参加国平均と同程度であるが、課外活動(スポーツ・文化活動)の指導時間が特に長く、事務業務、授業の計画・準備時間も長い。
- 教員や支援職員等の不足を指摘する校長も多い。

### <1週間あたりの勤務時間>

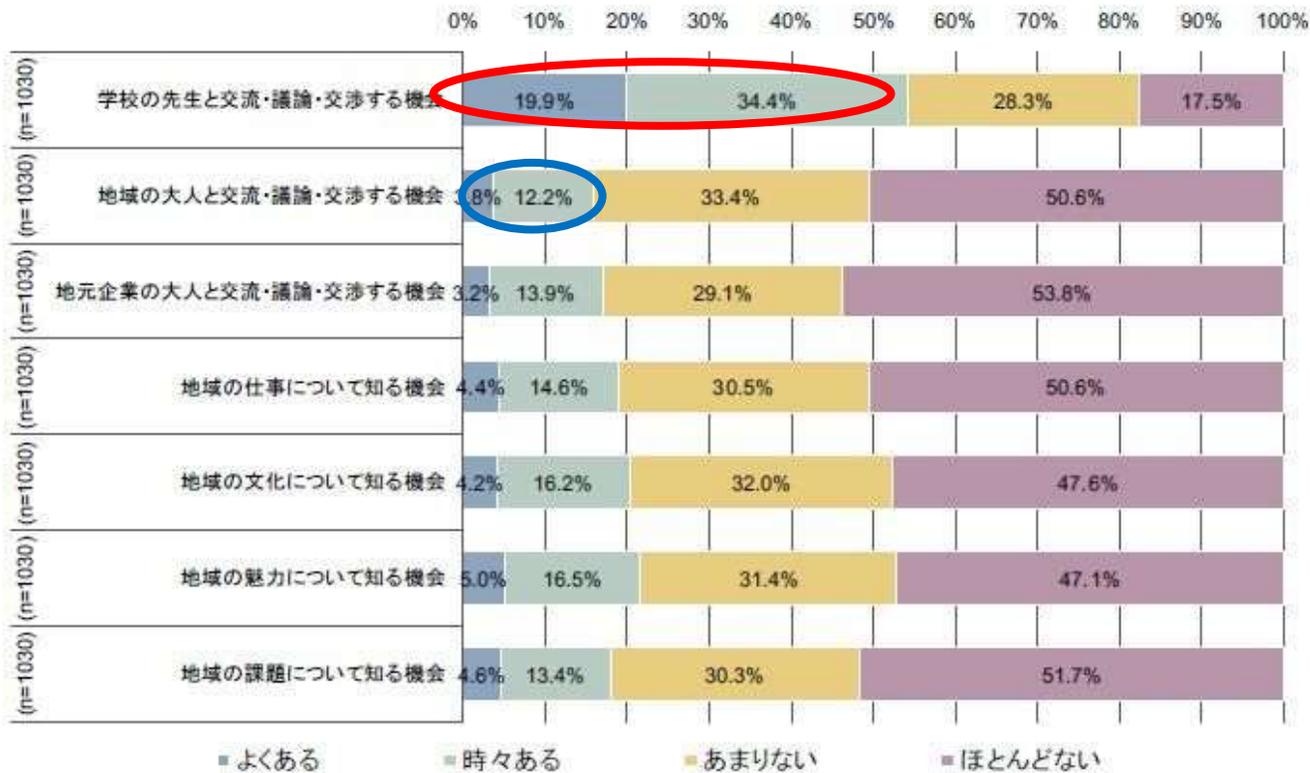


# 1.背景（担い手不足・教員への負荷）人材育成・ヒト 教育・モノ

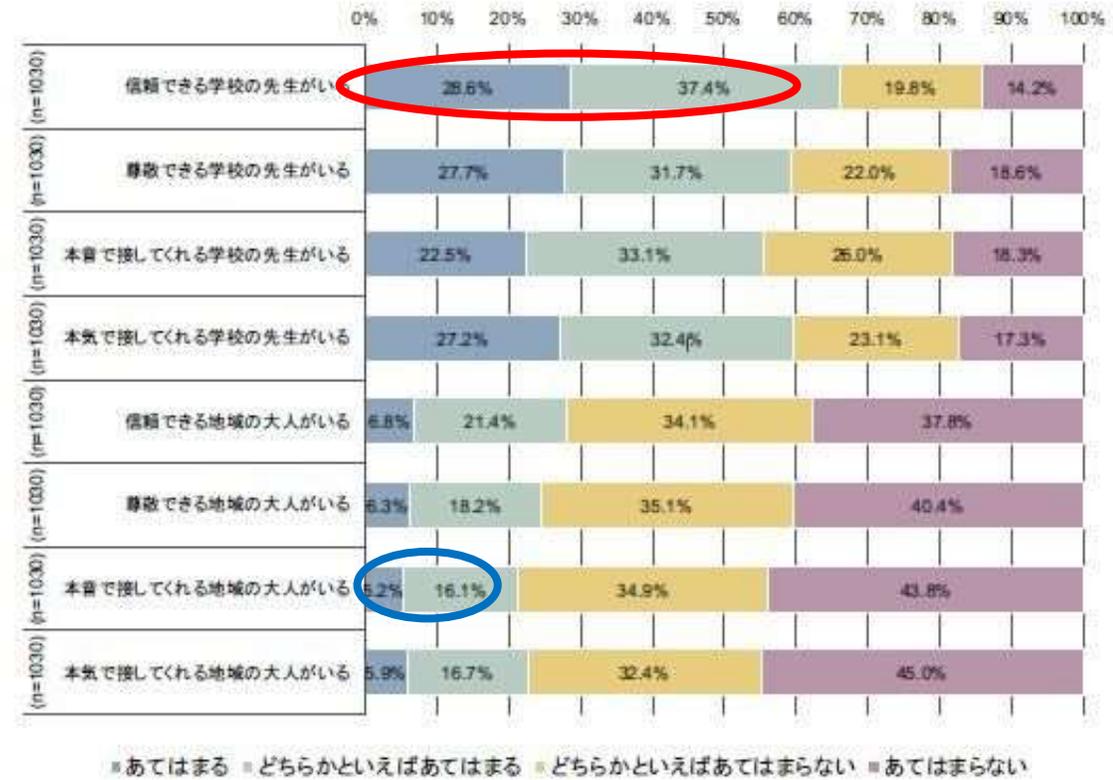
## 高校生と地域社会との関わり

約6割が、先生と議論する場がある、本気で接してくれる**先生**がいる  
 地域の大人と議論する場、本気で接してくれる**地域の大人**は、**2割以下**

図表 10 高校での、地域社会や大人と関わる様々な機会の有無



図表 11 教員や地域社会の大人との関係性



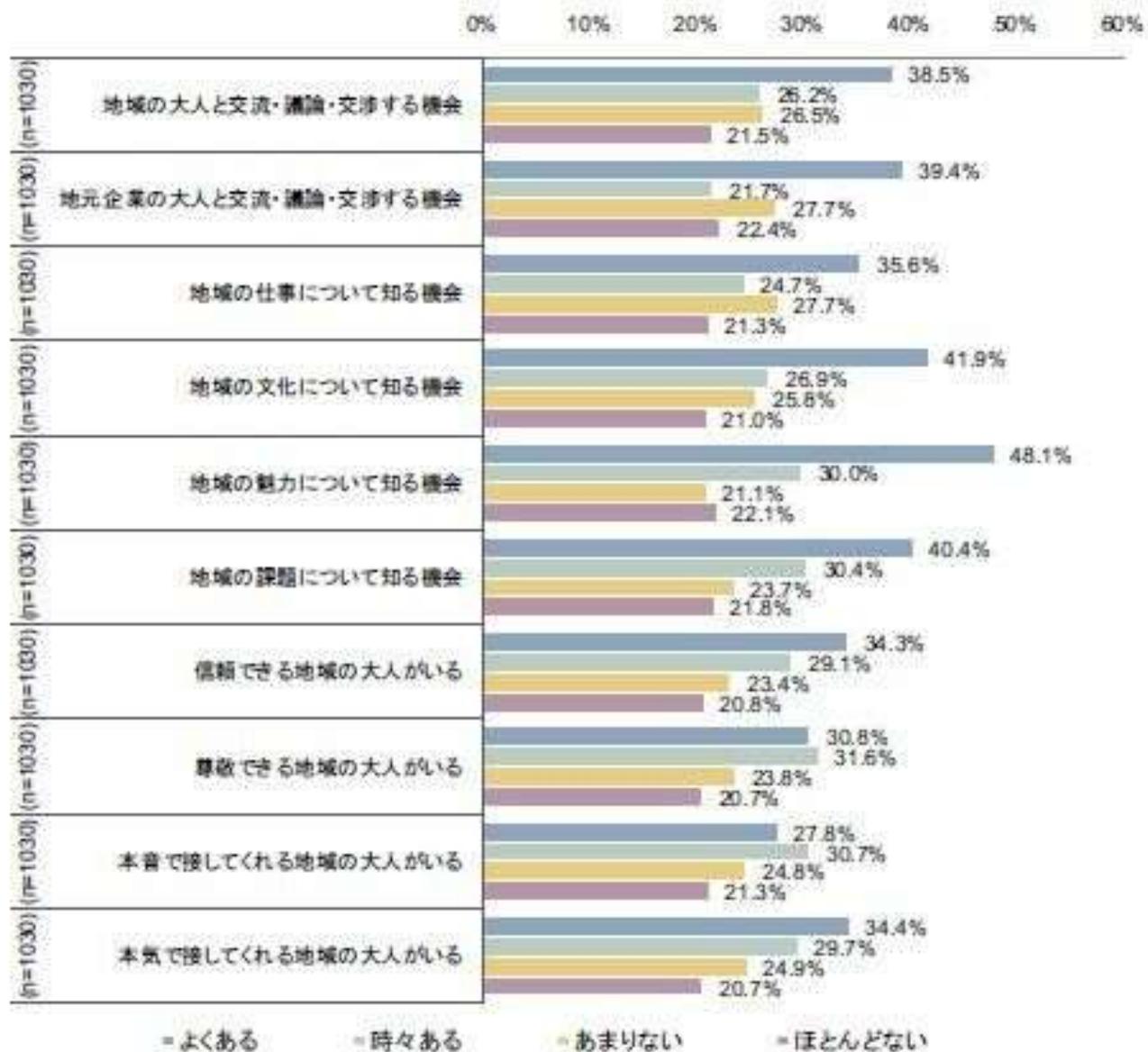
# 1.背景（担い手不足・教員への負荷）人材育成・ヒト 教育・モノ

図表 15 高校での、地域社会や大人との関わりと市区町村定住意向

高校生と地域社会との関わり

地域社会や地域の大人と関わる機会が多いほど、定住意向が高い

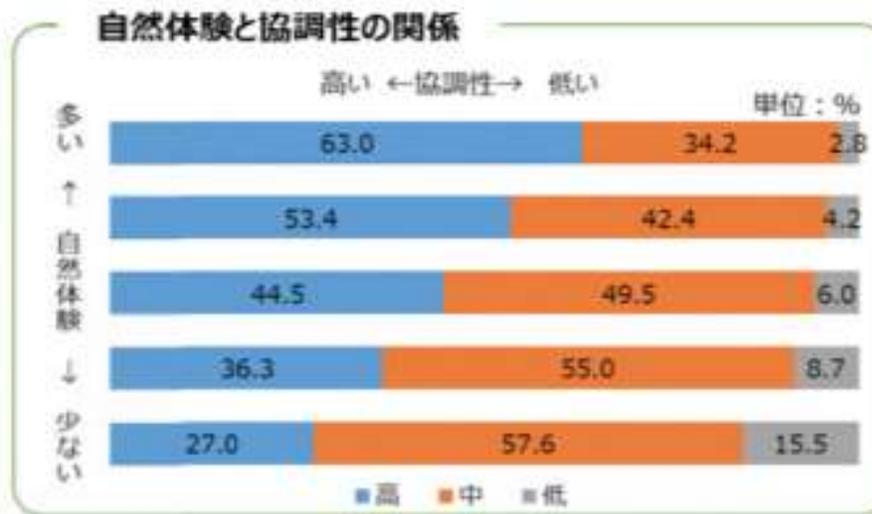
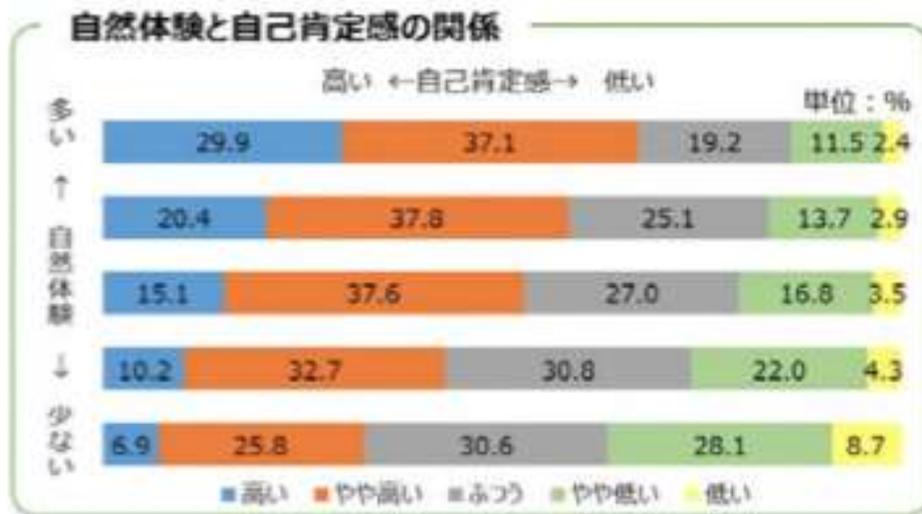
関わりを持つことの重要性



高校生と地域社会との関わりにかかる実態調査  
 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

# 1.背景（体験活動への参加） 地域・コト 体験活動について

自然体験を多く行った子どもほど、  
自己肯定感、自律性、協調性、積極性が高くなるという傾向がある。



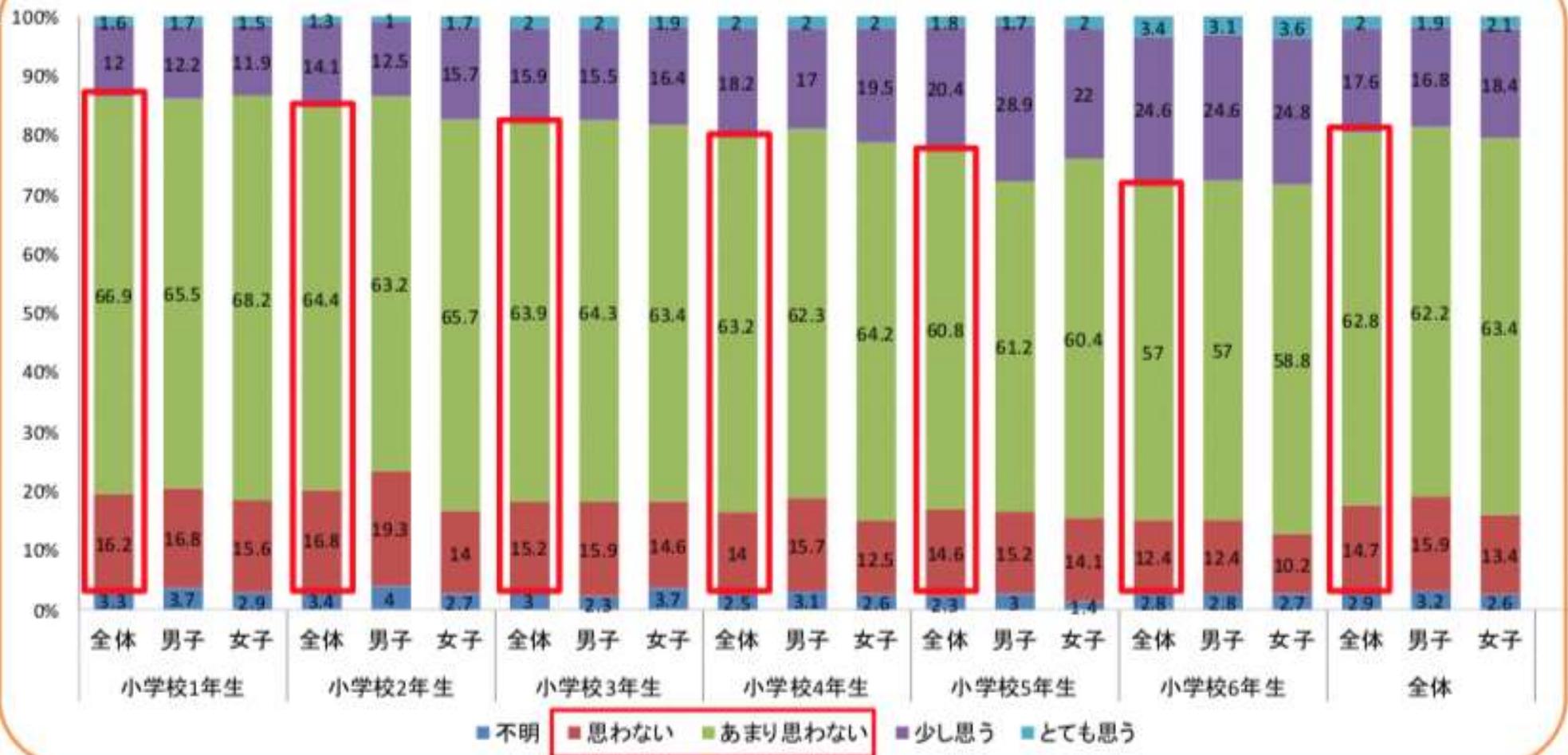
(独) 国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査」(令和元年度)

# 1.背景（体験活動への参加） 地域・コト

## 体験活動に対する保護者の意識

8割の保護者が、体験活動の必要性を感じている

自分の子どもには、今は体験活動よりも勉強を優先させたい



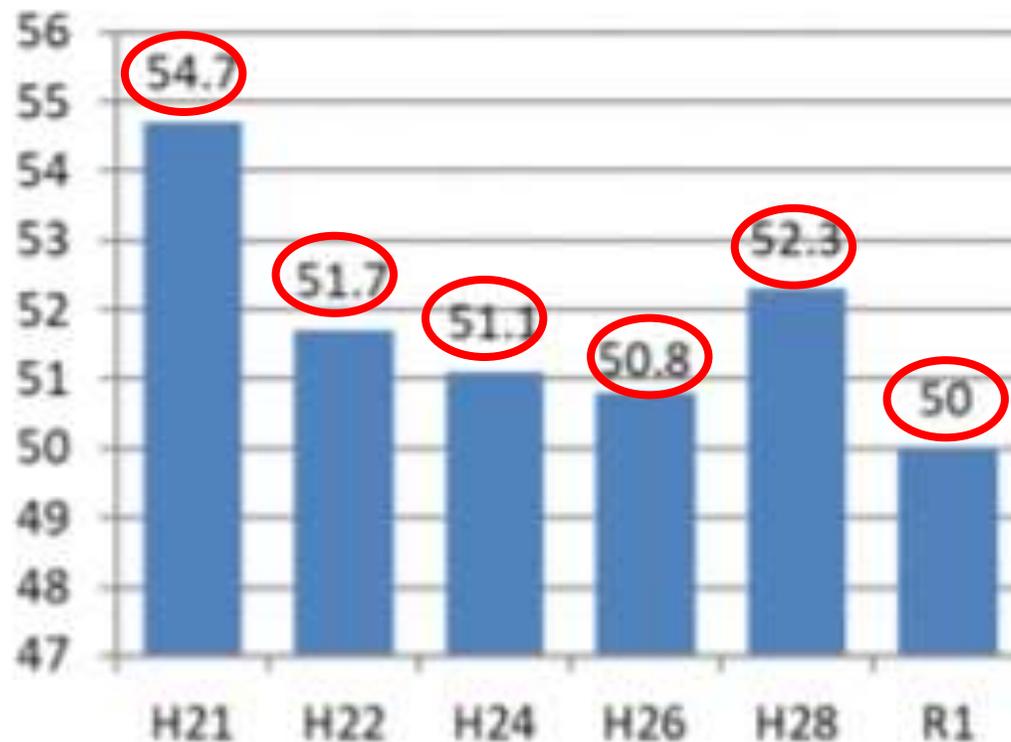
出典)独立行政法人「青少年の体験活動等に関する実態調査(平成26年度調査)」

# 1.背景（体験活動への参加） 地域・コト

体験活動への参加者の減少

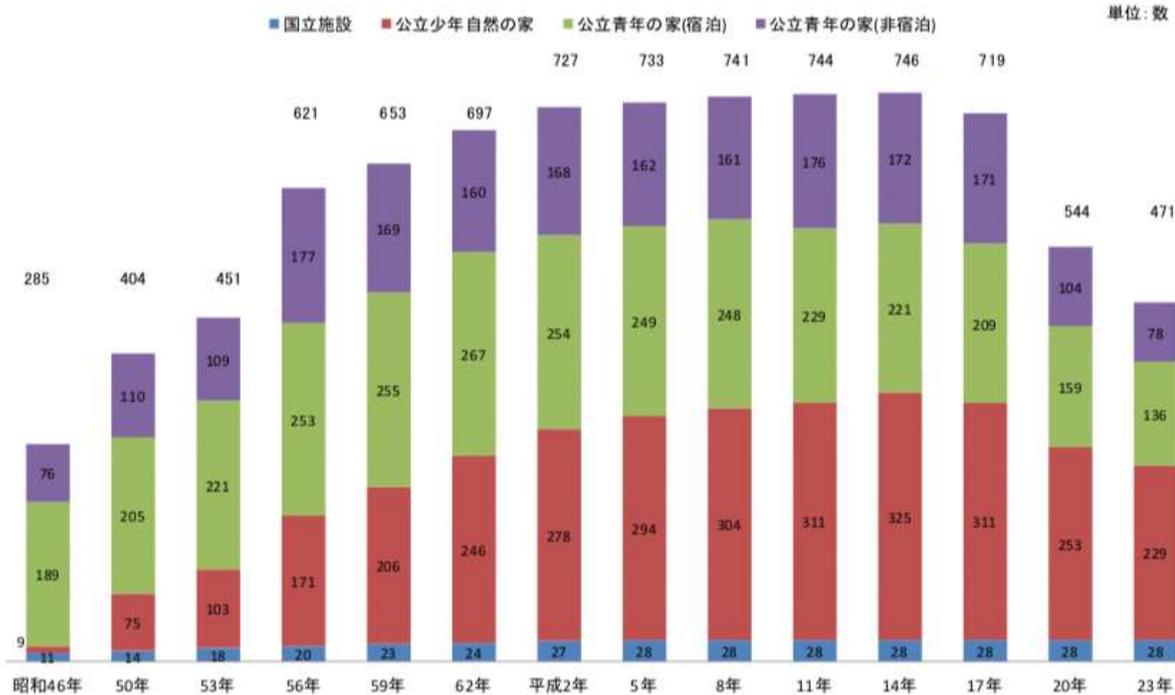
学校以外の公的機関や民間団体等が行う  
自然体験に関する行事に、参加した子どもの割合は、約半分

学校以外の公的機関や民間団体等が行う自然体験に関する行事に参加した子供（小学1年生～6年生）の割合（％）



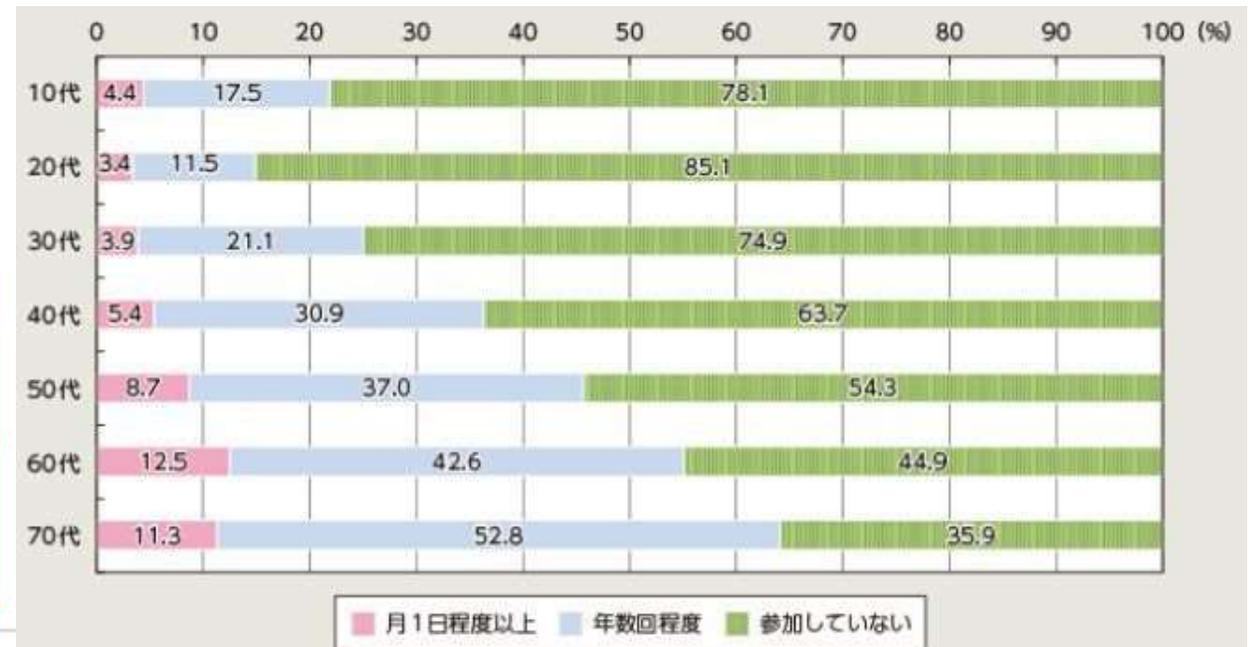
# 1.背景（体験活動への参加）地域・コト 体験活動の担い手、参加機会の減少

## 国公立青少年教育施設数の推移



出典)文部科学省「平成23年度社会教育調査」(平成25年3月)

## 年齢階級別の町内会・自治会への参加頻度



資料：厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「人口減少社会に関する意識調査」(2015年)  
 (注) 10代は、15~19歳を対象とした。

## 1.背景への考察

---

### ○担い手不足・教員への負荷

学校の先生への負荷は、限界がある

地域の大人の出番や、地域との関わりの機会の創出

### ○体験活動への参加

ニーズにあった主体性を育む機会の創出

人任せにせず、主体的に動ける機会や人を増やす必要がある。

# 先進地視察による考察

---

1

背景

2

先進地視察による考察

3

原因分析からの課題解決

4

具体的な解決策（政策提案）

## 2.先進地視察（徳島県神山町からの学び）



株式会社リレイション 代表取締役社長  
NPO法人グリーンバレー 監事  
祁答院 弘智（けどういん ひろとも）さん

### お聞きした内容

- ・神山町との関係
- ・神山塾の目指す姿
- ・塾の人材活用
- ・徳島市と神山町でやっていること

昔に比べて生活は良くなっているのに、不幸感がある  
都会のマイナスと田舎のマイナスをプラスに変えたい  
ひとづくり、まちづくり、なかまづくり



→ 地域や地域の人々と交流しながら自分の生き方、暮らし方、働き方を考え、  
時代の変化に流されない「自分のものさし」を築いていく。

## 2.先進地視察（徳島県神山町からの学び）



(一社) 神山つなぐ公社  
すまいづくり担当  
高田 友美さん

### お聞きした内容

- ・ 地方創生の戦略策定
- ・ まちの方にまちを知っていただくための作戦
- ・ まちを将来につなぐプロジェクト（つなプロ）について

### 地方創生の戦略策定

- やり方を変える。やらないことは書かない
- 会議には各団体等の代表者に来てもらわない。

- ・ 49歳以下のワーキンググループ
- ・ 人選は一本釣り、男女役場民間移住地元半々。
- ・ 新しいものは、すでにあるものが組み合わせると生まれる。
- ・ 実行する熱意と力がある人探し・それによる分野分け
- ・ たべる・まちエネルギー・そだつ・まなぶ・とどける・しごと



「自分が何に関わりたいか」を考えた計画の策定

## 2.先進地視察（徳島県神山町からの学び）



（一社）神山つなぐ公社  
高校プロジェクト担当  
梅田學さん

### お聞きした内容

- ・神山町で感じたこと
- ・神山創造学
- ・どんぐりプロジェクト
- ・孫の手プロジェクト
- ・お弁当プロジェクトなど

### 高校プロジェクト

地域の人と関わり、役に立ったという経験が、まちのためとか戻ってくるとかの動機になると考えて取り組みを続けている。

#### （例1）どんぐりプロジェクト

町営住宅を建てる際に、学生が山にある木々から種を採取しそこから育てたものを植栽として活用した。

#### （例2）孫の手プロジェクト

園芸を学ぶ学生が、お年寄りなどから庭仕事を受注し学校で学んだ技術を実社会で生かす。しかも感謝とともにお金もいただく。

神山町 「やってみること」を応援する文化



創造学の時間は生徒自身が考え動くことが必要  
周辺住民から高校の認識や位置付けが変わって来ている。

## 2.先進地視察（具体的取り組み事例）

### 可能性が感じられるまちの構成要素

- ・ 人がいる
- ・ いい住居がある
- ・ よい学校と教育がある
- ・ 多様な働き方と仕事がある
- ・ 富や資源が流出していない
- ・ 安心な暮らしがある
- ・ 関係が豊かで開かれている

そのために必要な

- 人づくり・・・ 神山塾や神山高校での取り組み
- 計画づくり・・・ 総合戦略でありたい姿を共有
- 関係づくり・・・ 地域と学生との間をつなぐ



**成り行きの未来**



**あるべき姿へ**

## 2.先進地視察（大刀洗町の取り組み）



福岡県大刀洗町役場  
地域振興課長 村田まみさん

### お聞きした内容

- ・住民協議会について
- ・答申内容は出来る限り実現していく
- ・過去に総合計画のワークショップに高校生に参加してもらったら卒業後役場に入った
- ・行政だけの意見ではない良さ
- ・ファシリテーションの重要性

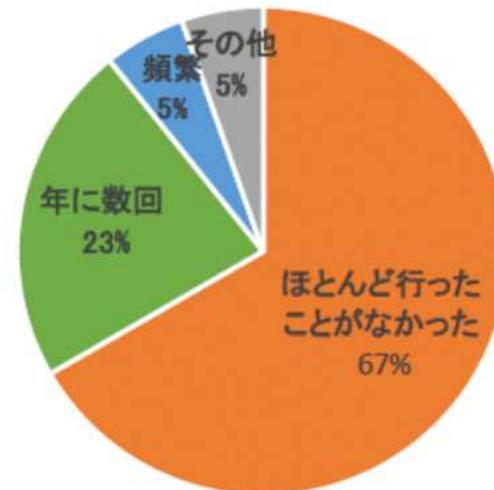
住民協議会（自分ごと化会議）を2014年から実施

無作為抽出した住民に案内を送付し、その中の希望者から参加者を決定するやり方

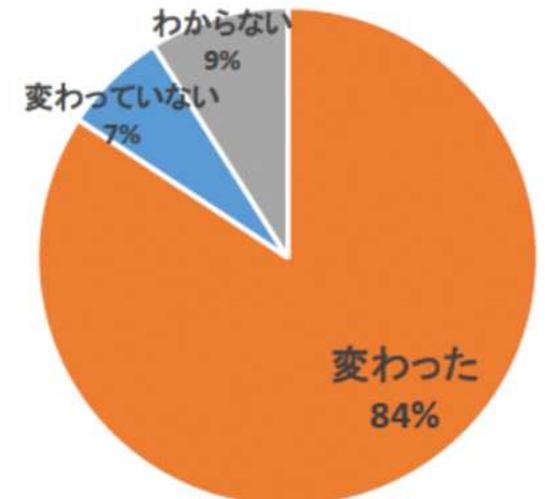
過去のテーマ

ゴミ、地域包括ケア、地域自治団体と行政の役割、子育て支援、防災、暮らしの中の鉄道、健康づくり、公園

参加する前の役所との関わり

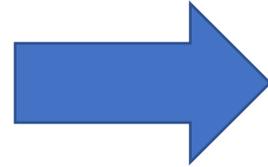


参加後の行動変容



## 2.先進地視察（大刀洗町の取り組み）

従来のやり方、①「公募」や  
②形式的に「団体の長」選出



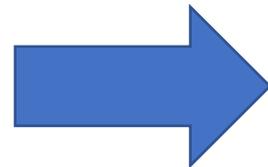
メリット

意識の高い人が参加できる  
所属団体の現状認識が高い

デメリット

特定のごく少数の人が手を挙げる  
属性が偏りがち  
行政にとって都合の良い人が多い

くじ引き民主主義の無作為抽出による応募型



メリット

今までアプローチ出来ていない人  
女性の参加率も増える  
行政への要望だけではない

デメリット

行政的にはシナリオ不在  
ファシリテーターが重要

神山町 成り行きの未来ではなく→あるべき姿へ  
計画、人、関係づくり

大刀洗町 町の課題を住民と共有する機会創出  
課題の根源にどう対処するか  
→住民・地域が出来ることを決め  
足りない部分を行政が補う

行政と住民が課題を共有し、暮らしの質をどう高めていくか。

# 原因分析からの課題解決

---

1

背景

2

先進地視察による考察

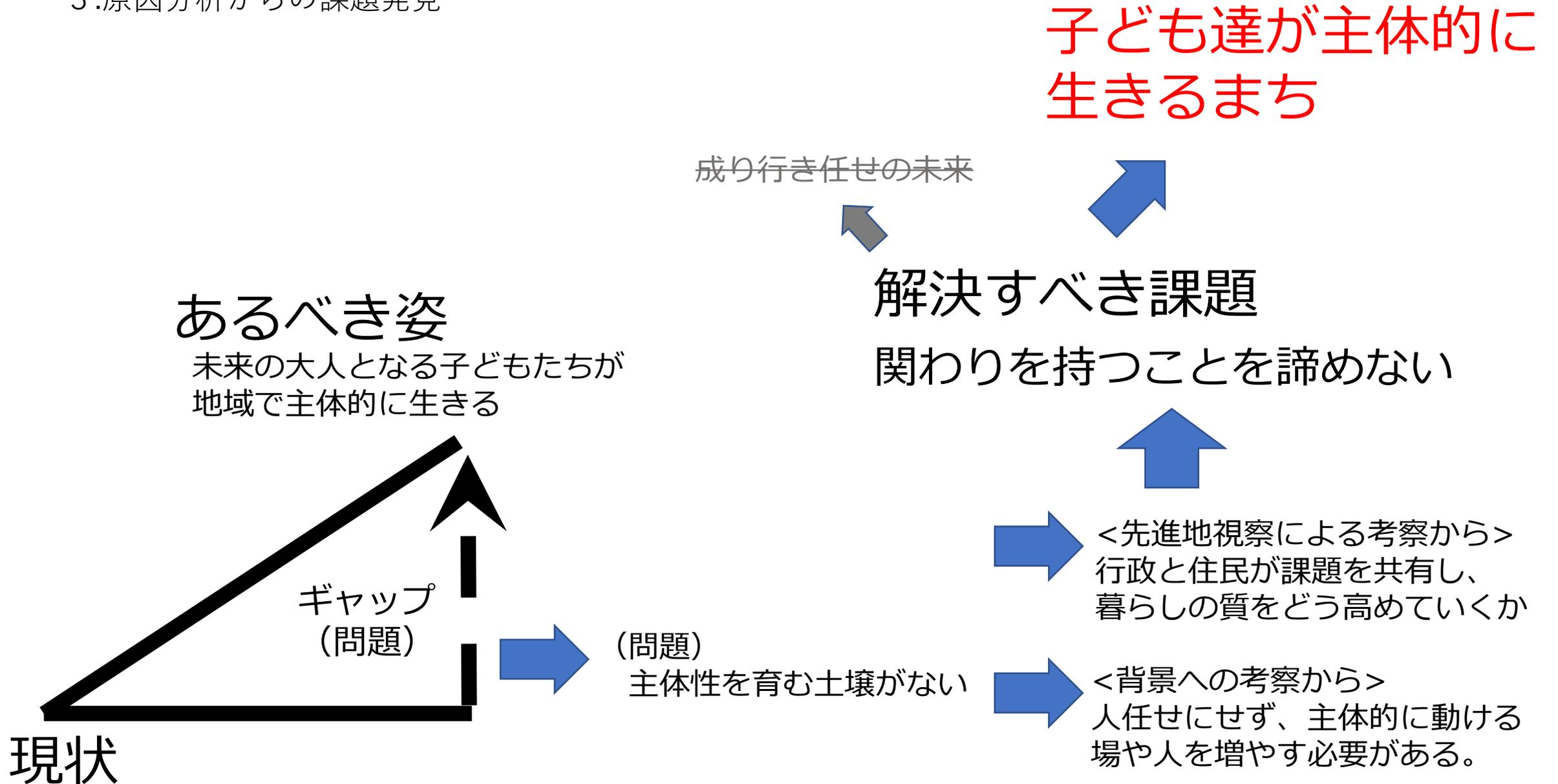
3

原因分析からの課題解決

4

具体的な解決策（政策提案）

### 3.原因分析からの課題発見



# 具体的な解決策（政策提案）

---

1

背景

2

先進地視察による考察

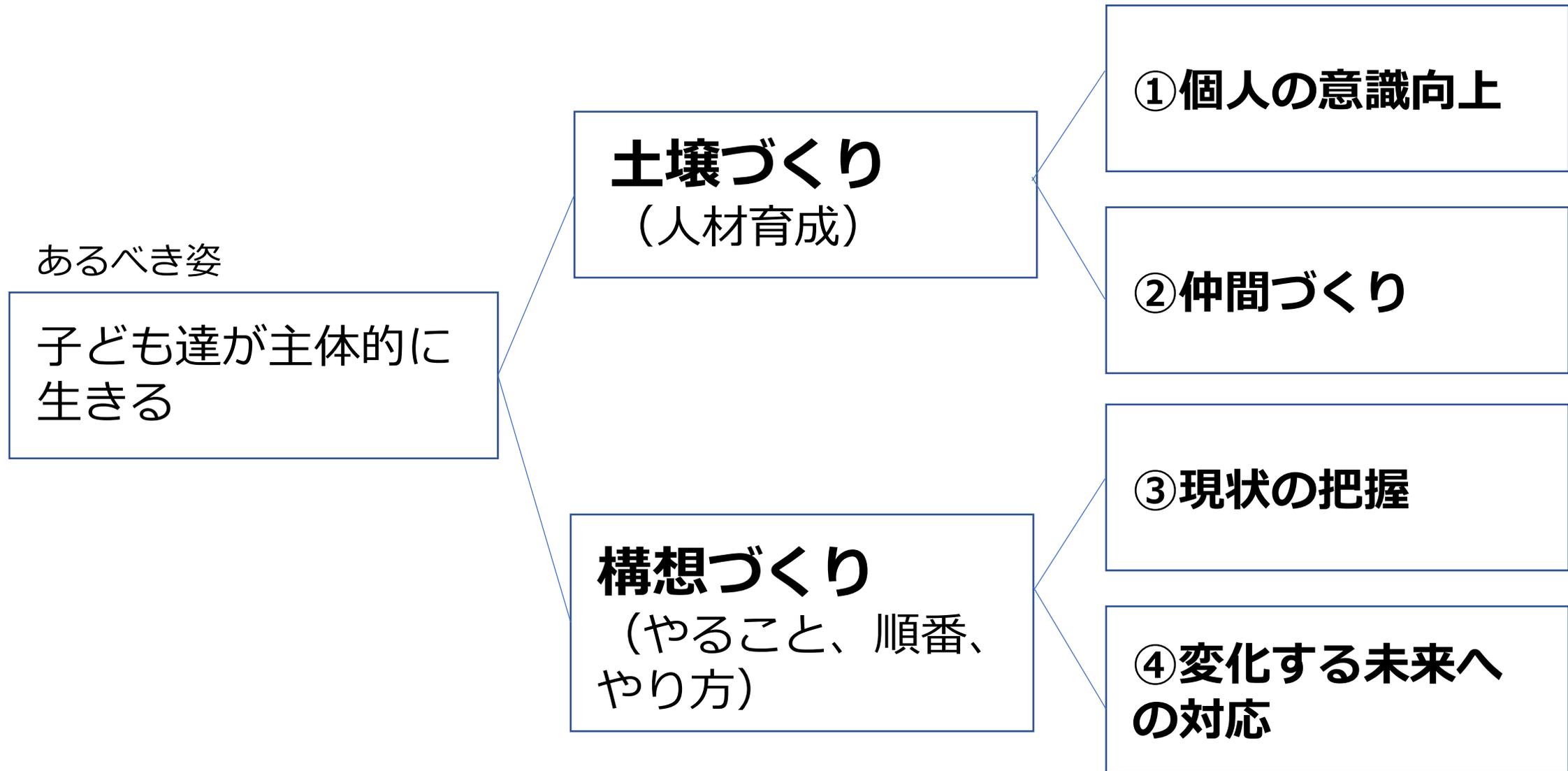
3

原因分析からの課題解決

4

具体的な解決策（政策提案）

### 3.具体的な解決策（政策提案）



### 3.具体的な解決策（政策提案）

#### ①個人の意識向上

- ・ 広報誌にネガティブな記事を掲載
- ・ 一日〇〇体験
- ・ 学校の一日体験
- ・ 子ども議会
- ・ 職員トレード

#### ②仲間づくり

- ・ トークダンスする
- ・ 運動会をする
- ・ イベントに参加する
- ・ 地域ツアー
- ・ 食事会

#### ③現状の把握

- ・ まち歩き
- ・ 学校体験
- ・ アンケート  
(ネガティブ情報の共有)
- ・ 地域ツアー
- ・ 食事会

#### ④変化する未来への対応

- ・ やることを決める

# 政策案 1 【担い手の育成①個人の意識向上】

---

## 1 コマ先生体験事業

市内・町内の小中学生から選出された上級生が、下級生の授業に参加し、教員の指導補助を行う。

### 予算

- ・交通費

### 効果

- ・授業の内容が充実し、教員の負担軽減につながる。
- ・子どもたちが、教える喜び、わかる喜びを知り、小さな成功体験を積み重ねることで、マインドセットが変化していく。

## 政策案 2 【協議の場づくり②仲間づくり】

---

### まちづくり（協議の場）補助事業

市が抱える課題等について協議する場を開く際に不特定多数が参加出来るような告知・呼びかけを行うものに対して必要経費について補助を出すもの

### 予算

- ・補助金（用途は使用料、謝金、交通費、委託費他）

### 効果

- ・まちの課題について話す場をつくる
- ・色々な属性の方が関わる場を創る
- ・ここで出て来た課題や内容は、原則公開していただく

## 政策案 3 【共有からの仕組みづくり③現状の把握】

---

### 住民協議会をやってみる！事業

- ・年に1つのテーマで課題を共有する
- ・無作為抽出による呼びかけ、数回に分けて実施
- ・企画担当課＋課題（テーマ）の課（大刀洗町の例）

### 予算

- ・委託料、郵送料、謝金

※構想日本に委託をする場合、約200万円と聞いている

### 効果

- ・まちの課題について話す場を作り現状を共有
- ・関わる人を増やしていく（自分・地域・行政の役割）
- ・土壌の醸成

## 政策案4【課題解決へ！④変化する未来への対応】

---

### 課題解決プランコンテスト

「これを解決したい！」というプランを募集して住民発案の企画コンテストを行う。採択されたら実際に取り組む。

### 予算

- ・ 補助金                      1 提案    2,000千円
- ・ 企業版ふるさと納税や地元企業からの資金で賄いたい

### 効果

行政任せではなく、やれる人がやれることを提案し実現していく未来をつくる。なりゆきに任せない。

## 協議の場づくり②仲間づくり

今まで関わってきた人  
(さまざまな団体の代表者など)

意見を取りにいかなければ、  
声が届けられない人



関わる人を増やしていく



プロトモデルより（自転車の両輪のイメージ）

